

性能評価用提出図書（別添） 作成要領

（区画貫通部用）

注意事項

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書(別添)です。
- 2) 図書のサイズは特に指定されたもの以外はA4版としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定通りの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS 明朝体・サイズは10ポイント、数字・単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS・WORDを使用してください。）
- 5) 上書きを使用する場合は、このページを削除し、作成要領に従って作成してください。
3章は6章と自動リンクしており編集不要です。4章以降の入力をお願いします。
自動リンクは6章入力直後には反映されませんが、「編集」－「すべて選択」の後「F9」を押すと反映されます。
「項目」、「仕様」欄は、元の文字を先に消してしまうとリンクが途切れますので、元の文字の左上にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除してください。

ハウスプラス確認検査株式会社
評定部

網掛け表示部分は、本仕様に対応した材質、寸法、規格番号、数値等を記入してください。

1. 構造名

〇〇／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
開口部	形状 矩形
	面積 〇〇m ² 以下 (φ〇〇m以下)
占積率 (開口面積に対する給・排水管、ケーブル断面面積の総合計の割合)	〇〇%以下
貫通する壁の構造等	鉄筋コンクリート (中空壁を除く) ・厚さ 〇〇以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

3章は6章と自動リンクしているため、編集作業不要です。4章構造説明図以降の作成をお願いします。

(寸法単位：mm)

項目	仕様
① 電線管・ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・本数 〇〇本以下 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)①③の組合せ (2)②③の組合せ (3)③のみ ①鋼製電線管 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS 0 0000 ・外径 〇〇±〇〇以下 ・肉厚 〇〇±〇〇以下 ・本数 1本以下 ②合成樹脂製可とう電線管 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS 0 0000 ・外径 〇〇±〇〇以下 ・肉厚 〇〇±〇〇以下 ・本数 3本以下 ③ケーブル <ul style="list-style-type: none"> ・総有機量 〇〇kg/m以下 ・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS 0 0000、0 0000、…… ・外径 〇〇以下 ・導体断面積 〇〇mm²以下 ・導体種類

項 目	仕 様
	1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)銅 2)〇〇 ・絶縁体 1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)〇〇系樹脂 2)なし ・シース 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)〇〇系樹脂 2)〇〇系樹脂 3)なし ・介在物 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ポリプロピレン 3)なし ・本数 総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下且つ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下
2 鋼製開口枠	・材質 〇〇 ・厚さ 〇〇 ・高さ 〇〇
3 ケーブルラック	・材質 〇〇 ・厚さ 〇〇
4 防火措置材	[1]耐熱シール材 [1]-1 〇〇系〇〇 ・組成(質量%) 無機質充てん材 50 _{±1} 〇〇 25 _{±1} 〇〇・顔料 25 _{±1} ・充てん厚さ 〇〇以上 ・比重 〇〇±〇〇g/cm ³
5 ●〇〇 (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
6 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
7 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
8 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
9 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
10 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
11 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
12 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。
13 ●〇〇	●認定仕様を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
14 ●○○	●認定仕様を記入してください。
15 ●○○	●認定仕様を記入してください。
16 ●○○	●認定仕様を記入してください。
17 ●○○	●認定仕様を記入してください。
18 ●○○	●認定仕様を記入してください。
19 ●○○	●認定仕様を記入してください。
20 ●○○	●認定仕様を記入してください。

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①固定部材	[1]本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2]六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 ・呼び MO 表面 電気めっき
②受け金物	[1]仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法 1)～3)のうち、 いずれか一仕様とする 1)粘着テープ (○○系) 2)耐火接着剤 (○○系) 3)なし [2]鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○
③●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	●認定仕様を記入してください、(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)
④●○○	●認定仕様を記入してください。
⑤●○○	●認定仕様を記入してください。
⑥●○○	●認定仕様を記入してください。
⑦●○○	●認定仕様を記入してください。
⑧●○○	●認定仕様を記入してください。
⑨●○○	●認定仕様を記入してください。
⑩●○○	●認定仕様を記入してください。
⑪●○○	●認定仕様を記入してください。
⑫●○○	●認定仕様を記入してください。
⑬●○○	●認定仕様を記入してください。
⑭●○○	●認定仕様を記入してください。
⑮●○○	●認定仕様を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑩●○○	●認定仕様を記入してください。
⑪●○○	●認定仕様を記入してください。
⑫●○○	●認定仕様を記入してください。
⑬●○○	●認定仕様を記入してください。
⑭●○○	●認定仕様を記入してください。

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

- ・図を載せてください。
- ・構造説明図には、表中の項目（〇〇管、ケーブル、受け金物…等）すべてを引き出し線で記入してください。

正面図

断面図

注) 寸法および材料構成は2 および3 のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

・耐熱シール材

正面図

断面図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

5. 施工方法等

施工手順及び施工図を以下に示す。

①貫通開口部の設定

電線管サイズ,本数及び占積率を考慮して
貫通開口部を設ける。

②電線管の設置

電線管の設置を行い、支持・固定する。

③耐熱シール材の巻き付け

耐熱シール材を電線管に対して一周以上巻き付けて

.....固定する。

この時、耐熱シール材と配管との間に隙間がないよう
に注意し確認する。

④耐熱シール材のスライド

耐熱シール材を電線管に沿わせて耐熱シール材の先端が
床面と同一面になるようにスライドさせる。

⑤埋め戻し

貫通開口部と耐熱シール材の隙間に、 ○○mm 以上
充てん材にて埋め戻しする。

埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。

左側の項目に合わせて図面を入れて
ください。

6. 評価方法

6-1. 試験体の選定

1. 寸法および形状等

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。

(寸法単位：mm)

項目		試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
開口部	形状	矩形	矩形	仕様と同じ
	面積	〇〇㎡ (φ〇〇m)	〇〇㎡以下 (φ〇〇m以下)	遮炎性上不利となる最大
占積率 (開口面積に対する給・排水 管、ケーブル断 面積の総合計の 割合)		〇〇%	〇〇%以下	遮炎性上不利となる最大
貫通する 壁の構造等		鉄筋コンクリート ・厚さ 〇〇	鉄筋コンクリート (中空壁を除く) ・厚さ 〇〇以上	・遮炎性上不利となる最小

2. 材料構成

1) 主構成材料

試験体に選定された構造を記載してください。数値は全て確定値(「以上」「以下」「±」等は付けない)で記載してください。また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

仕様に対して試験体を選んだ理由を、項目毎に全て記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
① 電線管・ケーブル	<ul style="list-style-type: none"> ・本数 〇〇本 ②③の組合せ ③ <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS 0 0000 ・外径 〇〇 ・肉厚 〇〇 ・本数 3本 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・総有機量 〇〇kg/m ・規格 JIS 0 0000 ・外径 ・導体断面積 〇〇mm² ・導体種類 〇〇 ・絶縁体 	<ul style="list-style-type: none"> ・本数 〇〇本以下 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)①③の組合せ (2)②③の組合せ (3)③のみ ①鋼製電線管 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS 0 0000 ・外径 〇〇±〇〇以下 ・肉厚 〇〇±〇〇以下 ・本数 1本以下 ②合成樹脂製可とう電線管 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS 0 0000 ・外径 〇〇±〇〇以下 ・肉厚 〇〇±〇〇以下 ・本数 3本以下 ③ケーブル <ul style="list-style-type: none"> ・総有機量 〇〇kg/m以下 ・規格 次の規格のうち、いずれか一仕様とする JIS 0 0000、0 0000、…… ・外径 〇〇以下 ・導体断面積 〇〇mm²以下 ・導体種類 1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)銅 2)〇〇 	<ul style="list-style-type: none"> 遮炎性上不利となる最大 遮炎性上不利となる(2) ② <ul style="list-style-type: none"> ・仕様と同じ ・外径、肉厚、本数 遮炎性上不利となる最大 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・遮炎性上不利となる最大 ・試験体仕様による ・外径、導体断面積 遮炎性上不利となる最大 ・遮炎性上不利となる2)

主構成材料の部材名の頭文字は項目順番号を□で囲った文字を使用してください。

仕様が複数存在する場合、「(*)~(*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
	●●系樹脂 ・シース ●●系樹脂 ・介在物 ・本数 ●●本	・絶縁体 1), 2)のうち、いずれか一仕様とする 1)●●系樹脂 2)なし ・シース 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)●●系樹脂 2)●●系樹脂 3)なし ・介在物 1)~3)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ポリプロピレン 3)なし ・本数 総有機量を各ケーブルの有機量で除した数以下且つ総導体断面積を各ケーブルの導体断面積で除した数以下	・遮炎性上不利となる 1) ・遮炎性上不利となる 3) ・ケーブルの総有機量及び総導体断面積によって定まる本数
2 鋼製開口枠	・材質 ●● ・厚さ ●● ・高さ ●●	・材質 ●● ・厚さ ●● ・高さ ●●	・材質、厚さ、高さ仕様と同じ
3 ケーブルラック	・材質 ●● ・厚さ ●●	・材質 ●● ・厚さ ●●	・材質、厚さ仕様と同じ
4 防火措置材	[1]耐熱シール材 [1]-1 ●●系●● ・組成(質量%) 無機質充てん材 50 ●● 25 ●●・顔料 25 ・充てん厚さ ●● ・比重 ●●g/cm ³	[1]耐熱シール材 [1]-1 ●●系●● ・組成(質量%) 無機質充てん材 50 _{±1} ●● 25 _{±1} ●●・顔料 25 _{±1} ・充てん厚さ ●●以上 ・比重 ●● _{±0.0} g/cm ³	2項目以上同じ選定理由の場合、項目名(材質、厚さ等)を列記してください。 ・仕様と同じ ・遮炎性上不利となる最小 ・仕様と同じ
5 ●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体選定理由を記入してください。
6 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
7 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
8 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

(寸法単位：mm)

項 目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
9 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
10 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
11 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
12 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
13 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
14 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
15 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
16 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
17 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
18 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
19 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
20 ●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

金物や留付け材など副構成材料を記載してください。

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
①固定部材	[1] 本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2]六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 電気めっき	[1]本体 ・材質 ○○ ・寸法 ○○ [2]六角ボルト ・種類 六角ボルト ・規格 JIS 0 0000 ・呼び MO 表面 電気めっき	[1] ・材質、寸法 仕様と同じ [2] ・種類、規格、呼び、表面 仕様と同じ
②受け金物	[1]仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法 なし [2]鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○	[1]仕切板用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○ ・固定方法 1)～3)のうち、 いずれか一仕様とする 1)粘着テープ (○○系) 2)耐火接着剤 (○○系) 3)なし [2]鋼製電線管用 ・材質 ○○ ・厚さ ○○ ・寸法 ○○	[1] ・材質、厚さ、寸法 仕様と同じ ・遮炎性上不利となる 3) [2] ・材質、厚さ、寸法 仕様と同じ
③●○○ (黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください、(黒丸の左にカーソルを合わせて入力を始め、入力完了後に元の文字を削除して下さい)	試験体選定理由を記入してください。
④●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑤●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑥●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑦●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑧●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑨●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑩●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑪●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

副構成材料の部材名の頭文字は項目準番号を○で囲った文字(丸付き数字)を使用してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
	ださい。	い。	ください。
⑫●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑬●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑭●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑮●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑯●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑰●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑱●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。
⑳●○○	試験体の構造を記入してください。	●認定仕様を記入してください。	試験体選定理由を記入してください。

6-2.試験方法

- ・試験は、6-1 に示した試験体について、当社が制定した「防火区画等を貫通する管の性能試験・評価業務方法書」に基づき 60 分遮炎性能試験を実施した。

6-3.試験の結果

[遮炎性能試験](加熱 60 分)

- (1) 非加熱側へ 10 秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (2) 非加熱面で 10 秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (3) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4.評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

7. 申請者連絡先

会社名：

所在地：

電話：

連絡先を記載してください。